

一級建築士に直接お届けする建材特集マガジン

2021

Vol. 17

# CLASS 1

## ARCHITECT

内と外の境界をデザインする建材とは。

建築家 増田信吾 十 大坪克巨

街の家

Aesop 日比谷シャンテ

# 注目建材の 無料モニター募集中

応募者の中から抽選で、建材を無料プレゼント。



1名様

提供: OOKABE GLASS

## 空間の美しさが際立つガラス製ドア テンパードア

安全性の高い「強化ガラス」で作られたガラスドア。オフィスや店舗、浴室などに使用することで開放感のある空間が生まれ、室内も明るく広々とした印象に。

### ■ ご提供内容

最大サイズ: W1,000 × H2,400mm ※サイズオーダー可能  
厚み: 12mm  
※トップビボット・フロアヒンジ付き

応募締切  
**2021年10月31日(日)**

ご応募はこちら



## モニターの流れ

応募者の中から厳正な抽選のうえ、ご当選者様には編集部よりお電話またはメールにてご連絡します。



建築素材・製品サンプル取り寄せサイト  
**e-sample**

ウェブサイトはこちら  
e-sample.jp  
<https://e-sample.jp/>



建材をご提供いただける  
**メーカー様を  
大募集中 >>>**



建築建材DPA  
デジタルプロモーション協会  
<https://architecture-dpa.com/>

建材でカーボンニュートラルに貢献

建材のサンプル・カタログ販売サイト「e-sample.jp」は、建築建材デジタルプロモーション協会(DPA)が提供するサービスです。



冷暖房の効きが悪い

光を遮らず、窓の目隠しをしたい

結露が気になる

外の音が気になる

## 窓の相談窓口 WINDOWS

くらしの問題を、「窓」で解決

窓相オススメ  
商品・サービス

短時間で高断熱の窓リフォーム!

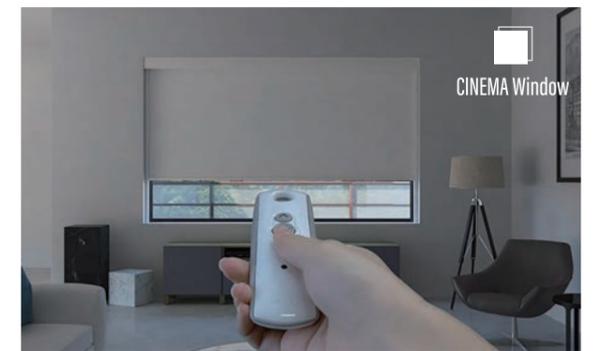
### RAKUE



「断熱・遮熱性能」「耐久性」「短時間で手軽な取付」を実現した樹脂窓。樹脂サッシと複層ガラスで最高クラスの断熱性を備えることはもちろん、樹脂サッシに替える際に不安な「耐久性」や「汚れやすさ」の問題を、特殊なフレームで克服。

窓がプロジェクター用スクリーンに!

### シネマウィンドウ



特許取得のスクリーンファスナーシステムを採用したロールスクリーン。外部からの光を遮断して室内を完全な暗間にすることができ、会議室をプレゼンルームに、リビングをシアタールームとして使える。お家時間の長い今の時期におすすめの商品。

他にもたくさんのおすすめ商品を取り揃えております。詳しくはサイトをご覧ください。

窓の相談窓口 WINDOWS  
mado-soudan.jp

販売元: OOKABE GLASS  
0120-50-4577  
担当: 橋本 副担当: 藤澤

営業日: 09:00~18:00 月曜~土曜日(祝日除く)  
MAIL: shop@ookabe-glass.com  
FAX: 0776-54-4566

詳しくはこちらから



# THIS ISSUE'S CLASS1 ARCHITECT

著名建築家が実際に使用した建材を紹介するCLASS1 ARCHITECT。

今回は増田信吾氏・大坪克亘氏にご登場いただき、  
建築にまつわる想いを伺いました。



増田信吾氏(左)と大坪克亘氏(右)

良いかを突き詰めたい願望はありません。行った設計が広がりを持って周囲にどう影響を与えることができるのか、その範囲を大きくしていきたい。例えば時間軸を設計に組み込むことで、広域構想のための全体像を描きながら必要に応じて部分的につくり、全体も都度再考していく、そんな設計を今試してみています。

## 印象に残ったプロジェクトは？

いちばん初めに設計した住宅の塀「ウチミチニワマチ」が、私たちの考え方を一変させました。このプロジェクトを通じて、「家をつくる」ことだけではなく、家と道・庭・街との間にある「場」がどうなっているか、ということの方が、街にとっても家にとってもむしろ考えるべきことなのではないかと教えられました。境界を変えるだけで空間を揺るがし、街や人との関わりが変わってくる設計があることに気づかされました。

## 建築家になったきっかけは？

増田：高校卒業後に一度、営業職に就き、人に何かを売るということがどんなことか考えるきっかけになりました。1年後、一から自分で構想し、それを人生をかけて見届けられることができる建築職に興味を持ち、美術大学の予備校に通うことになりました。大坪：兄がデザインを勉強していた影響が大きかったです。ファイン系

の学科より建築の学科の方が卒業してからの進路も想像がついたため、建築科へ進みました。

## これから挑戦したいことは？

自分たちが何を設計したからどう良くなったか、環境がどう変化したかということに興味があります。一つの建物をつくり、それ自体がどう

### 増田信吾 + 大坪克亘

#### 建築家

#### 増田信吾

1982 東京都生まれ  
2007 武蔵野美術大学建築学科卒業  
2015 コーネル大学客員教授  
2019- 明治大学特任准教授

#### 大坪克亘

1983 埼玉県生まれ  
2007 東京藝術大学建築科卒業

#### ●主な著書

『Adaptation 増田信吾 + 大坪克亘作品集』  
(TOTO出版/2020)

#### ●受賞歴

2008 鹿島出版会SD Review入選  
2009 鹿島出版会SD Review入選  
2011 JCDデザインアワード2011金賞  
2011 ar+d Awards for Emerging Architecture2011 準大賞 (UK)  
2014 JCDデザインアワード2014金賞  
2014 ar+d Awards for Emerging Architecture2014 大賞 (UK)  
2016 第32回吉岡賞

#### ●主な作品

2014 躯体の窓  
2017 Aesop 日比谷シャンテ  
2018 街の家

# CLASS1 ARCHITECT

一級建築士に直接お届けする建材特集マガジン

Vol. 17

## 内と外の境界をデザインする建材とは。

建築家 増田信吾 + 大坪克亘

### 06 街の家

・Studio Onder de Linde 「カーテン」

### 10 Aesop 日比谷シャンテ

・NSGインテリア株式会社 「マジックミラー」

### 15 ARCHITECT'S Q&A

聞きたくても聞けない、建築家が出合った特別な建材を一挙ご紹介！



# 内と外の境界をデザインする建材とは。

## 街の家

## 狭小地でオープン性とプライベート性を同時に叶える

2018年に増田信吾氏と大坪克亘氏が完成させた「街の家」は、東京都の住宅地に続く賑やかな商店街にある。敷地は間口約3m、奥行き約15mという、まるで鰻の寝床のような狭小地。施主はプライバシーを優先したい妻と、街の人ともコミュニケーションを取りながらオープンに過ごしたい夫。相反する要望を持っており、設計では狭小地でオープンな状態とプライベートな状態を両立させる建築の在り方を考えることになった。

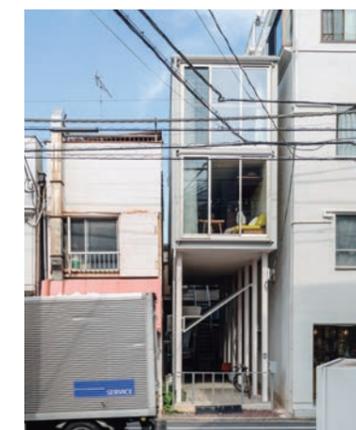
商店街に面したこの土地の前面は必然的に街へ開かれており、奥は静かな住宅街へ接していく。増田氏と大坪氏は、土地の奥行きが深いことで生まれているオープン性とプライベート性の同居、そしてその行き来を考え、2層の細長い箱状の木造家屋を鉄骨によって4.5mの高さに持ち上げることを提案した。

こうしてできた1階部分のピロティは、家のエントランスでありながら街にもつながり、近隣住民とのバーベキューなども行う半ばパブリックな空間として機能している。対照的に、ピロティの奥に据えた小屋は物置でもありながら夫がリモートワークを行うための個人的な拠点にもなった。光が差し込み街の気配が伝わる2階の前面はリビングとし、その直上に子ども部屋、対角線上にある3階の奥に最もプライベート性の強い寝室を配置した。

狭小住宅においては特に、住む人の生活の仕方や持ち物と密接に連動させた生活動線を引く必要があるが、増田氏と大坪氏の場合はそういった細部を自身の設計の根幹にはしない。「私たちは常に施主とは異なる目線を持つ。設計することでその場所がどうなるのか、という大きな視野や新しい解釈こそ、私たちに求められていることだと思います。施主はやはりどこかしらに矛盾を抱えていて、世の中の用意されている答えでは解決できないからこそ私たちに声をかけてくるのだと思いますから」。増田氏と大坪氏の徹底した客観性によって、矛盾を孕んだ問いは鮮やかに解かれていく。

### 街の家

所在地 東京都目黒区  
設計 増田信吾 + 大坪克亘  
施工 ダブルボックス



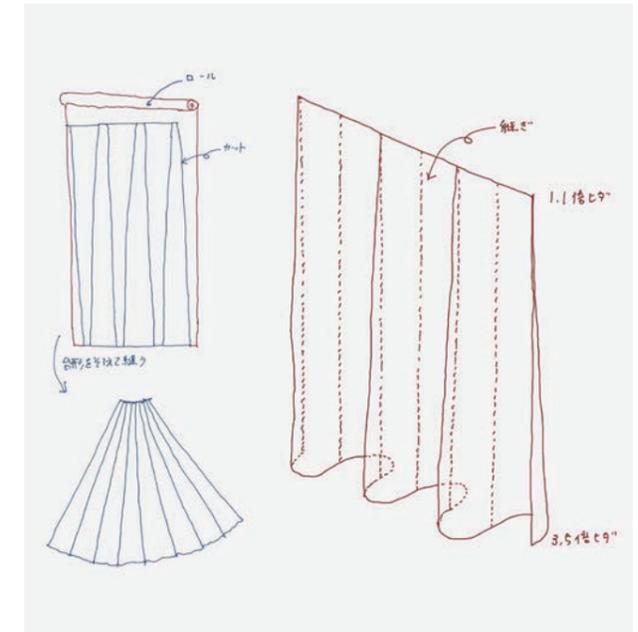


増田さん、大坪さん、  
なぜこの建材を採用したのですか？



形や重さを持った「物」として

建築の延長としてテキスタイルがどうあるべきかというのが私たちが整理できていなくて、今までは空間を用意したからその窓に合うテキスタイルを考えてもらうという感覚でした。オンドルデリンデさんの場合は、植村さんは建築をベースにテキスタイルに関わっていますし、もともと洋服のデザインの勉強をしていた久米さんは立体的に裁断・裁縫して重力でどうドレープをつくるかを探究したりしているので、布自体の柄やグラフィックデザインとしてのテキスタイルの話ではなく、形や重さを持った構築的なテキスタイルの話になる所が設計的で、一緒にやりたいなと思いました。「街の家」ではあくまで布の重さとドレープのみで機能と雰囲気を出そうと議論しました。



家の内部と外部の境界にある立体的な膜

街の家の商店街側に面したガラス窓には、3階から2階に流れ落ちるように1枚のレースカーテンが掛けられている。このカーテンは、リビングの直上に位置する子ども部屋の声や気配が伝わるようにと施主が望んで設けたもので、2階と3階の間の吹き抜けを貫いて垂れ下がっている。単なる1枚の布ではなく、細い台形に裁断したレースを縫い合わせており、3階ではほぼフラットに近い1枚の布状を呈して光や景色を透過しつつ、2階においてはその3~4倍の布量がつくる豊潤なドレープが街からの視線を遮り、光は通しながらもプライバシーを守る。家の内部に対して必要な機能を果たしながら、外部に対しては街との境界を形づくるこの家の外構の一部ともなっている。インテリアの一部として色や柄等で選択するカーテンの既存概念とは異なる次元で、裁断と縫製と重力で形づくられる立体的なフォルムを持った建材としてカーテンが用いられている。

Studio Onder de Lindeの特徴

- 01 異業種の経歴を活かした独創的な提案**  
建築家の植村遥氏とテキスタイルデザイナーの久米希実氏によるユニット。久米氏はファッション業界でのパターンナー経験を持ち布の立体的な裁断・縫製も得意。
- 02 カーテンではなく「場」をつくる**  
カーテンそのものではなく、建築と布、布と人から生まれる関係性＝「場」を重視。根本的な在り方や機能を考えた末に生まれる自由なカーテンづくりを行う。
- 03 布を柔らかい構造物として存在させる**  
布の持っている表情と、その周りの光や風、温度などの環境を同時に観察することで、建物内部・外部の多様な関係性を生み出す柔らかな構造物として存在させる。

メーカーさんへ聞いた / 建材開発秘話

お話を伺ったのは…  
久米希実さん  
植村遥さん



Studio Onder de Lindeの久米希実さん(左)と植村遥さん(右)

そこに存在する理由のあるものを

オランダ語で「木の下」を意味するユニット名は、多様な人々が集まることで生まれる豊かな可能性や従来とは異なる観点からのアプローチで建築と一緒に考えていく「多様性のプラットフォーム」を目指し名づけました。布は光、風、時間、温度、重力など環境に作用し多彩な表情を見せます。手に取った布とカーテン全体を見渡す距離での物質感の違いにも驚かされます。私たちは窓に付いている布＝カーテンではなく、そこに存在する理由のあるものをサイトスペシフィックに考え製作しています。

Studio Onder de Linde  
URL [www.instagram.com/studio\\_onderdelinde/](https://www.instagram.com/studio_onderdelinde/)



## 内と外の境界をデザインする建材とは。

### Aesop 日比谷シャンテ

#### ダイナミックな2つの什器で 店舗の世界観を成立させる

開業以来最大規模の改装を行い、2018年春に営業を開始した東京都の商業施設「日比谷シャンテ」。その1階に、国内で4つ目となる直営店をオープンしたオーストラリア発のスキンケアブランド「Aesop (イソップ)」が、店舗設計を増田氏と大坪氏に依頼した。

Aesopは、製品の魅力を五感で体感できる重要な場として店舗を位置づけ、国内外のデザイナーを起用し空間全体をつくり込むことで知られる。今回の新店の場所

は、三方が開口部ないしはガラス面で、壁は1枚のみという構造。完結した空間にはできないため、新しいアプローチが必要だった。

増田氏と大坪氏は、地下から地上へエスカレーターで上った所にある開口部に、あたかも壁一面が動くように感じるほど巨大な扉を設置した。それが開くと店舗が営業を開始し、扉の裏側はバックヤードへと変わる。扉の全面に付けたマジックミラーによって、照度の高い店内側から見ると、鏡に反射した外部のプロムナードの緑が視覚を占拠しながら街と一体的な体験になる一方で、照度を落としたバックヤード側からは店内の様子がよく見える。

中央にはキャッシャーと、製品のテストができるシンク付きの什器を設置した。扉とこの什器は、シンクを格納しないと扉の軌跡にぶつかるほど近接している。ダイナミックな2つの構築物がテリトリーが被る状態で配置され、その存在感のせめぎ合いが良い意味での緊張感を成立させる。これを、この店舗の構えとした。

閉店して扉が閉まると店内と外部の関係性は反転する。日中に周囲の景色を反射していた扉が閉まると、プロムナード側からのディスプレイとしてブランドの世界観が完結する。マジックミラーの巨大な扉の動きが店舗のプログラムと一致することで、その場所ならではの機能を最大限に発揮している。



#### Aesop 日比谷シャンテ

所在地 東京都中央区  
設計 増田信吾 + 大坪克直  
施工 株式会社 アンドエス

マジックミラー



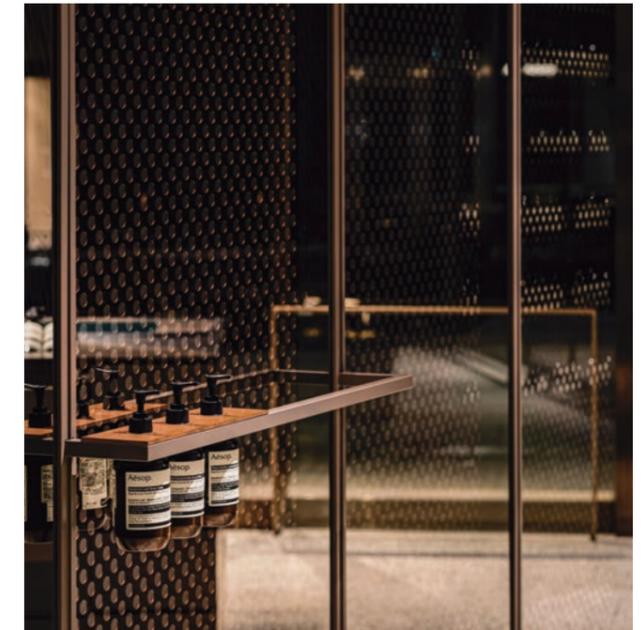
店舗閉店時。照度差によりマジックミラーが店内を映し出す

増田さん、大坪さん、  
なぜこの建材を採用したのですか？



反射・透過を両方備える面白さ

マジックミラーは建築の中だどこか演出的・装飾的すぎる素材という印象だったものの、ふとその機能性を思い出し使用しました。反射率を上げた熱反射ガラスという素材がありますが、それに似た性格を持つマジックミラーは見る側の照度によって、その在り方を変えてくれます。計画性をもって使用しないと特性が機能に活かし切れない、面白い素材だと思います。実は、マジックミラーの裏には銅板のパンチング板を当てていて、マジックミラー越しにうっすらパンチングが見えるようになっています。ただの鏡だと反射しかしないのですが、反射・透過の両方の特性を併せ持つマジックミラーだからこそ、店内に奥行きや艶やかさを加えられたと思います。



内部と外部の照度差によって切り替わる世界

マジックミラーは、「反射」と「透過」の作用を併せ持つ。一般的には警察署の取調室や施設の監視窓、防犯用監視カメラのカバーガラス、コンビニエンスストアのバックヤード前面の小窓といった、用途が限られた使われ方をしている。Aesop日比谷シャンテでは、これを店舗の印象を決定づけるシンボルであり、バックヤードと売り場とを分けるパーティションでもある巨大な扉として全面に使用した。日中は照度の高い外界のプロムナードの緑を鏡の反射作用によって店内に取り込むことで、実寸以上の空間の広がり、五感で体感するというブランドの狙いを的確に実現する。一転して閉店時には、透過の作用によって照度の高い店内が暗闇の中にディスプレイとして浮かび上がる。見る側と見られる側が照度差によって転換するというマジックミラーの特性を、店舗として必要な機能へ昇華させた。

NSG インテリア株式会社の特徴

01 創業100年、自社工場の高い技術力

創業100年の老舗で独自の高い技術力を磨き上げてきた。内装ガラス業界では珍しく自社工場を持ち、鏡やカラーガラスなど内装ガラスに特化した製品づくりが強み。

02 多種多様な鏡や内装ガラスを製造・販売

ガラス全般を取り扱うが、単なる透明のガラスだけではない付加価値を提供し続けることが信条。営業と工場が一体となり、多種多様なニーズに柔軟に対応している。

03 製造・販売・施工まで一貫した管理

工事協力業者と連携して施工まで一貫して行うことができる稀有な会社。商業施設をはじめホテルやオフィス、駅通路などさまざまな規模のプロジェクト実績を持つ。

メーカーさんへ聞いた / 建材開発秘話

お話を伺ったのは…  
手塚翔太さん



マジックミラーの新しい使い方

「Aesop 日比谷シャンテ」はマジックミラーの特性がよく活かされていると思います。パンチングメタルと組み合わせることでデザイン性が加わっており、マジックミラーの新たな活かし方として興味を引かれました。マジックミラーは、監視窓や冷蔵ケースに使われることが多いですが、Aesop 日比谷シャンテの事例のように独創的な発想力で、窓や扉などあらゆる場所で幅広く採用していただけたら幸いです。建築家の方々の魅力的なアイデアと一緒に形にしたいと思っています。

NSG インテリア株式会社

〒111-0036 東京都台東区松が谷3-13-5  
TEL 03-3843-6906 FAX 03-3845-4667  
URL nsg-i.co.jp/





どこでも <sup>ふすま</sup> 襖 ZIPrail®

「襖」様式と持ち運べる「屏風」をひとつに。  
可能にしたのは、極薄 15mm のレールです。

13,860円(税込)~/1mキット

SHARP FIT

ANY FABRIC



従来品ロールスクリーン



わずか  
15mm

ZIPrail.

高さ15mm・幅35mmのレール。  
存在感が全くないため、どんな場所にも馴染みます。



最大6枚のスクリーンを収納

機能性のあるものから意匠性の高い生地など。  
空間にあわせて最適な素材をお選びください。

建材情報とネット販売  
**CLASS1  
SELECT**

販売元: OOKABE GLASS株式会社  
**0120-58-0151**  
受付担当: 意元 副担当: 橋本



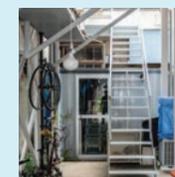
絶賛発売中!  
<https://class1.jp/>  
(会員登録必要)

ARCHITECT'S  
**Q&A**



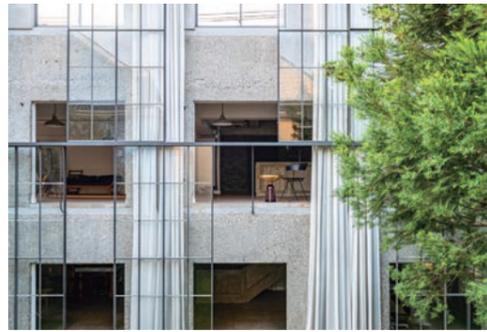
増田信吾+大坪克亘が選ぶ4つの建材

あの建築家はどんな建材を使って、どんな価値観を持っているのだろうか？  
そんな、聞きたくても聞けない“ここだけの話”  
建築家がテーマに沿って特別に語ってくれました。



## Q1 コンバージョンだからこそ実現した施工とは？

### A ビシャン仕上げ



#### 株式会社 稲葉商店

〒272-0832 千葉県市川市曾谷8-20-11  
TEL 047-371-5906  
FAX 047-372-3888



### 外壁塗装の剥離と仕上げを同時に行う

「躯体の窓」で、既存RC外壁の塗装を剥がすために採用しました。塗装を剥がす方法は薬剤剥離が一般的ですが、解体業者の稲葉商店さんが提案してくれた方法が、エアコンプレッサーで外壁を叩き表面を崩して剥がすという、いわゆるビシャン仕上げ。すべてのRC外壁に適用できる方法ではありませんが、「躯体の窓」に関しては鉄筋のかぶりも問題ないだろうと判断し、採用しました。新築の場合はかなり装飾的な仕上げであることや予算の都合から選択肢に入らなかったと思いますが、コンバージョンの案件ではむしろ効率的でコストを抑えた改修方法になる可能性があります。

## Q3 コストパフォーマンスの高い建材とは？

### A イナバ物置



#### 株式会社 稲葉製作所

〒146-8543 東京都大田区矢口2-5-25  
TEL 03-3759-5201  
FAX 03-5482-7862  
URL www.inaba-ss.co.jp/



### 安価でシンプル、カスタマイズしやすい丈夫な物置

「街の家」の1階ピロティの奥に、施主のワークスペース兼書斎として設置しました。施主に「離れの小屋が欲しい」と言われたのですが、コストの問題もあったため思い切って物置を使うことを提案しました。イナバさんの物置は「100人乗っても大丈夫」というコマーシャルで馴染みがあり、最近では全体がグレーで統一された製品もあって意匠もかなりかっこいいです。「街の家」ではスペック追加で物置に断熱材を施し、扉部分をDIYでガラスに変えたことで、離れとしては十分良いものになりました。自分である程度カスタムできて、非常にコストパフォーマンスが良い製品だと思います。

## Q2 空間が引き立つ建材とは？

### A kimiコーポレーションのカーテン



#### kimiコーポレーション

〒103-0023  
東京都中央区日本橋本町3-10-10 ファミール日本橋201  
TEL 03-5623-3804 FAX 03-5623-3814  
MAIL nihonbashi-kimi@joy.ocn.ne.jp



### 高さ9mの窓枠に設置した巨大なレースカーテン

「躯体の窓」で、約9mの高さがある窓に設置するカーテンとして採用しました。kimiコーポレーションさんは舞台用の大型のカーテンなどもつくっているファブリックメーカーです。カーテンは通常3mのロールになっていて、一般的な建物では天井高が3m以上というものはあまりないのでそのロールを横使いしているのですが、「躯体の窓」は高さがあるため、ロールを縦に使ってカーテンをつくりました。今はレースのカーテンですが、今後は施主がそこに重厚なカーテンを重ねてつける可能性もあるため、カーテンレールはかなり強度のあるものを窓枠の鉄骨に打ち込んでいます。

## Q4 立体的で表情のある塗装とは？

### A グッセラ・Gキャスト



#### 山本窯業化工株式会社

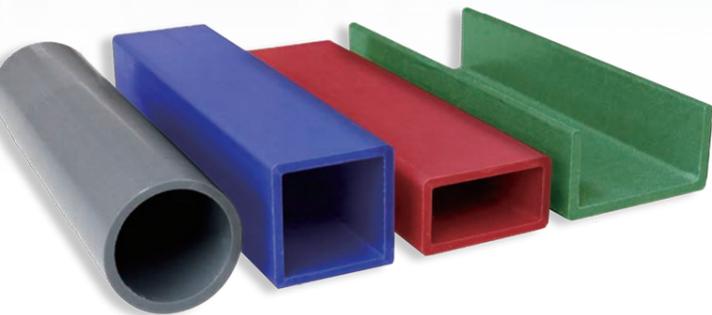
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町41-20  
TEL 06-6338-8705 FAX 06-6338-0075  
MAIL honbu@y-y-k.co.jp URL www.y-y-k.co.jp/



### 平坦な印象を与えない天然石調塗装

現在リノベーション中の「Goodoffice 品川」で採用しました。古いビルをシェアオフィスにするのですが、建物前面にある「引き」を設計し直すことで建物の構えを変えていくというコンセプトで、広場に設置した巨大な植物ポッドの塗装に使用しました。高温で着色したセラミックや天然石を粉碎したものを混ぜて樹脂で固めている塗装で、調色もできます。一般的な塗料は赤と青を混ぜれば均一な紫になりますが、石調塗装ではそれが混ざらず、遠くから見ると紫でも近くへ寄ると赤と青の粒子のままなのが特徴。混ぜる色によってグッと浮き出て見えるので、ディテールをつくれる塗装です。

エバープルトンで叶う  
ずっと続く、劣化しない風景



修繕予算が取りにくい公共建築物に最適

**EVER PURUTON**

耐食性・耐薬性・電気特性に優れ、  
海岸線や水槽・プールなどあらゆる環境や用途に対応。

- メンテナンスフリー
- ライフサイクルコストを抑制
- 塩害など錆や腐食に強い

エバープルトン / 角パイプ  
40mm × 40mm × 肉厚 6.0mm  
**2,123円 (税込)**  
※角パイプ以外の形状もございます。  
※着色は別途料金がかかります。

建材情報とネット販売  
**CLASS1  
SELECT**

販売元: OOKABE GLASS株式会社  
**0120-58-0151**  
受付担当: 意元 副担当: 橋本



絶賛発売中!  
<https://class1.jp/>  
(会員登録必要)

## Vol.17 読者アンケート

右のQRコードよりアンケートにご協力いただいた皆さまには、弊社の関連会社であるOOKABE GLASSのガラス・鏡販売サイトにて利用できる**10%OFF**クーポンをプレゼントいたします。更に、ガラス販売サイト内の「OOKABE GLASS会員」にご登録いただくと、無料でデザインガラスのサンプルアソートBOX (通常税込10,780円) をプレゼント!



## SPECIAL THANKS

### Architect

増田信吾+大坪克亘

### Manufacturer

Studio Onder de Linde  
NSGインテリア株式会社  
株式会社 稲葉商店  
kimiコーポレーション  
株式会社稲葉製作所  
山本窯業化工株式会社

### Architecture

街の家  
Aesop日比谷シャンテ

### Photo

永井杏奈様  
(表紙/P4/P5/P6-7/P8/P10-11/P12-13/P15/P16/P17上)

### CREDIT

発行 OOKABE Creations株式会社  
発行人 大壁勝洋  
ディレクション 岩崎祐輔  
編集 嶋田明莉  
文 角舞子・坪井千晶  
デザイン・DTP 山本実紗・勝木遥菜・伊藤周平・三枝清美 (株式会社ウララコミュニケーションズ)

### 【編集後記】

「普段、設計の際に意識しているのは、“施主と同じ目線で仕事をしないこと”です。例えば壁を茶色にしたいという施主に対して、違う色のほうが良いのではないですか?と口を出すのではなく、ではその茶色がその建築において、どういう意味を持つのか?ということを考えていきます」と取材で語ってくださった増田さん。あえて施主と同じ方向を向かないことで、増田+大坪さんにしかつくることのできない「場」がつけられていくのだと知りました。

掲載されている情報はすべて発刊当時のものです。各メーカー様へのお問い合わせの際には「CLASS1 ARCHITECTを見た」とお伝えください。サンプル送付・試作等の対応については有料の場合がございますので、お問い合わせ時にご確認ください。



**CLASS1 ARCHITECT  
PORTAL**

プロポーザル情報・建築士の求人情報・建材の比較記事など、建築士の方に役立つ情報を配信しています。無料会員登録がまだお済みでない方は、右のQRコードからぜひご登録をお願いいたします。



**建築建材DPA**  
デジタルプロモーション協会

本誌は建築建材デジタルプロモーション協会(DPA)が運営しています。本誌への広告掲載についてはDPAにお問い合わせください。

<https://architecture-dpa.com/>



デザインガラス専門店

国内最大級



古民家宿の引き戸



美容室の間仕切り



玄関の明り取り窓



和室のガラス障子

DG デザインガラス.COM 販売実績 No.1 商品取扱数 860 種類以上!



法人・個人事業主様は無料!  
人気ガラスのサンプルセット

取扱商品を全部掲載  
無料カタログプレゼント



プロのオペレーターが  
用途別におすすめ商品を提案

お電話なら最短1分で回答! ガラスのプロにご相談ください

0120-12-5534

F A X : 0776-54-4566  
M A I L : shop@ookabe-glass.com  
運 営 : OOKABE GLASS 株式会社  
住 所 : 〒910-0851 福井県福井市米松2丁目24-8

カートでも購入できます  
ウェブサイトはこちら▶

デザインガラス.COM



受付時間 9:00-18:00 日・祝除く 担当 中村 副担当 片山